

【専門部会】

日本地図学会専門部会の紹介 (Part 1)

若林 芳樹\*

1. 専門部会紹介の趣旨

日本地図学会には、地図学の特定の課題やテーマについて共同で研究したり議論したりする場として専門部会が設置されている。各専門部会は、定期大会、例会、機関誌の企画などで学会活動を支援してきた。その活動内容は毎年の総会で報告されるため、総会の参加者には周知されてきたものの、より広い会員に知ってもらうために学会ホームページでも紹介記事を掲載する準備を進めている。

この紹介は、専門部会の活動を記録として残すとともに、より広い会員に活動への参加を促すきっかけとなることを意図して、常任委員会の了承を得て編集委員会が企画したものである。

2. 専門部会の役割と活動

地図学が対象とするテーマは多岐にわたるため、主要なテーマごとに専門の研究者が共同研究や議論する場として専門部会が設置されている。当学会の前身である日本国際地図学会では1964年から専門部会を設置し、その一部はICA（国際地図学協会）のCommission（専門委員会）との連携を目的にしたものもある。過去の専門部会活動については、当学会の40年史<sup>1)</sup>、50年史（日本国際地図学会、2012）などを参照されたい。

第30期からは、各部会活動のより一層の明確化と活性化を図るため、会期ごとの設置申請書の提出を義務づけられた。これにともない、従前の専門部会を含めて活動目的や活動計画を明確化して改めて申請してもらった結果、新たな専門部会が発足したり、第29期まで活動していた専門部会が解散したり名称変更するなどして9つの専門部会に再編された。

第31期に活動しているのは、表1に示した12の専門部会である。その中で第29期から継続しているのは地図用語専門部会、海洋図専門部会、地図史・地図アーカイブ専門部会（名称変更）、学校GIS専門部会、地図と地名専門部会の5つである。このうちMSW日本語版制作専門部会は、MSWの日本語版を完成させ

た後、2024年3月で解散し、その後の活動は地図リテラシー専門部会などに引き継がれている。

この小特集では、表1のうち8つの専門部会について活動内容を紹介した記事を掲載する。この他の専門部会については、次号でPart 2として掲載することになっている。

会員は関心のある専門部会に自由に参加することができ、学会ホームページやメーリングリスト、SNSなどを通して情報を得ることができる。ただし、現状ではすべての専門部会の窓口や連絡先が公開されていないため、今後は学会ホームページなどで周知していく予定である。

表1 第31期専門部会一覧

Table with 2 columns: 専門部会 (Special Committee) and 主査 (Chairman). Lists 12 committees and their respective chairs.

注

1) https://doi.org/10.11212/jica1963.41.Appendix\_24

文献

日本国際地図学会編 2012.『日本国際地図学会50年のあゆみ』日本国際地図学会.

(受理 2024年11月20日)

\* 東京都立大学

【専門部会】

地図用語専門部会の活動について

今井 健三\*・菱山 剛秀\*\*

1. 設置の趣旨と活動の経緯

地図用語専門部会は本学会創立2年目の1964年2月の総会において学会内の専門部会の一つとして設置された。その主旨は地図用語の混乱や誤用を正し、地図作成・利用分野における地図用語の統一を計り、教育界や一般への地図用語に関する理解を深めることを目的とする。また、地図用語をめぐる国際的な諸問題についてはICAと連携して取り組んでいくことも大きな任務である。以来、60年にわたり歴代の部会員がその主旨を受け継いで、地道に活動を継続している。

これまでの主な活動成果としては1973年ICA刊行の『地図学用語多国語辞典』(MDC)に掲載された日本語用語の選定作業及び刊行事業への協力、1981年には文部省刊行『学術用語集 地理学編』のうちの地図学用語を選定して承認、採用された。

1984年は本学会創立20周年記念刊行物として『地図学用語辞典』(初版)の刊行、前述の初版が刊行後14年を経過しその過程で地図作成に宇宙技術、コンピュータ技術・GISが導入され新たな用語が数多く生まれこと等による全面的な見直しを行い1998年には本学会編『地図学用語辞典』【増補改訂版】を刊行した。

1999年～2005年は「地図学用語略語集」の選定を行い、審議済の略語は機関誌『地図』に3回掲載した。

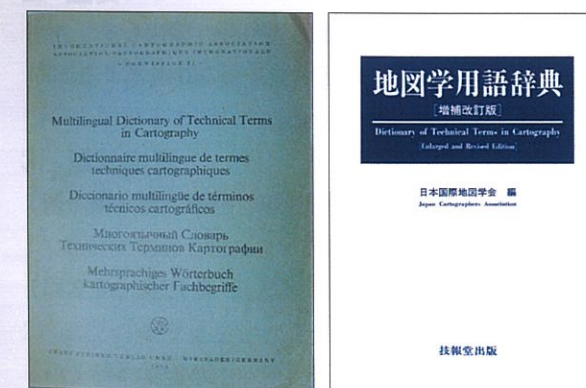


図1 MDC (左) と『地図学用語辞典』【増補改訂版】

2. 主要メンバー (2013年以降)

今井健三 (主査)、菱山剛秀 (副主査)、有川正俊、稲垣秀夫、卜部勝彦、遠藤宏之、菊池真一、猿谷享

\* 地図用語専門部会主査
\*\* 地図用語専門部会副主査

子、中島 円、中野一也、中村和彦、羽田康祐、藤沼邦雄、政春尋志

3. 最近の活動内容

1) デジタル地図用語集

「デジタル地図用語集」(430語)の用語の解説を作成・審議し、審議済の用語は学会ホームページに掲載した。

2) 地図用語の普及啓発

機関紙『地図』や定期大会、例会等の場を利用して地図用語の普及啓発を図り、地図教育に関わる小中高教員、その他一般会員の部会への参加を呼びかけた。

4. 最近の成果

1) 「デジタル地図用語集」中間成果公表

2013年～2022年は新しい地図学の分野である『デジタル地図用語集』の作成作業に取り組み、関連する論文、技術報告、国内外の測量、地図作成基準等から418語を抽出、選定し、個々の用語について、用語、読み、原語及び略語、同義語、関連用語、カテゴリ等の17項目に分類した「中間成果」を取りまとめ、機関誌『地図』Vol.55, No.1 (2017)へ掲載した。

また、学会ホームページに公表して一般会員からの意見募集を行った。

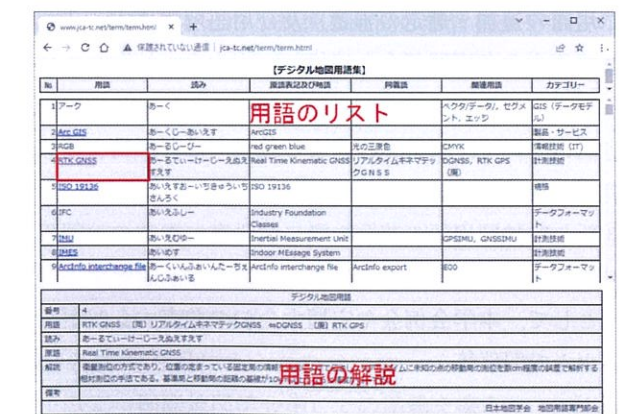


図2 ホームページの掲載画面